

▶会社の概要や特徴

- * 土木工事業：商圏内における公共・民間工事。舗装工事業、とび土工、解体工事業
 - * 浚渫工事業：全国各地の河川・港湾におけるしゅんせつ工事
- 国・県・市町村を発注者とした元請負も多彩にこなし、下請負での土木建設事業も幅広く活躍し、海・川・湖・ダムなどの底面に堆積したヘドロや土砂を浚(さら)い運搬・処分し、きれいな環境を整え、美しい街づくりに貢献しております。

▶取り組んだ理由きっかけ

建設業で働く人の高齢化が進み、若者にも建設業への興味を持ってもらう様な環境づくりの一つとして働き方改革の取り組みを始めました。

▶実現による効果など

- ・定期的に休暇を取得する事で、心身ともにリフレッシュすることができ、家族サービスもできるようになった。
- ・建設現場におけるICT化、生産性の向上を進め、賃金の見直し、安全性の確保を促進している。さらに改善を重ね効果が現れていくようにしていきたい。
- ・まず建設業に興味を持ってもらうために、就職セミナーや就職説明会でも若年層や学生に積極的にPRしていきたい。
- ・有給休暇の消化率が上がり、社内コミュニケーションとして会社遊戯室にて不定期ではあるがリクリエーション(運動)をする時間が出来た。仕事とのメリハリが付くようになり、また希望者を募り資格取得の支援など、働き方改革の一環としてSDGsに積極的に賛同し、効果が少しずつ出てきている。

▶4週8休実現へのプロセス

2019年3月までは第三土曜・日祝休み、2020年6月までは第二・第四土曜・日祝休み、2020年7月から4週8休の年間休日119日(会社カレンダー)へ。現場内における意識改革が徐々に浸透し、それに伴い会社休日も週休二日へ変更していった。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

仕事の分担ができるように人員の確保、長時間労働の是正、休日の確保の推進に取り組み、休日の確保が出来た現場もあるが、作業工程は従来通りの為、天候等により休日出勤が増えてしまっている現場もある。
代休・振替・有給休暇の利用者が増えた。日給者の収入減となるため、基本給の底上げ、手当を増やした。
応募が少ないので、求人等の広告を増やし、HPの内容の見直しなど人員確保につとめている。

▶独自の取組や工夫されてる点

ICT機器の利用促進による業務の軽減化。
弊社および、建設業に興味を持ってもらえるよう、求人・会社説明会、インターンシップ等の機会を積極的に増やしている。